

## テーマ6 稼げる観光地づくり（7件）

### 6-1 【大仙市 60代】

国際空港や大都市圏からの距離（移動時間）を考えると、まずはインバウンドを含めた長期滞在型観光客の誘致を目指すのが良いように思いました。

鶴の湯のように秘境や静寂が売りの観光地もありますが、他の観光地では多様な観光客が長期滞在しても満足出来る仕組みが必要で、「勝手に自然を楽しんで」と放任するのでは集客に繋がりません。秋田県には自然や温泉等の観光資源が多く有るものの、比較的分散している事が多いので、拠点間の移動に多くの時間を費やしてしまいます。長期滞在中に複数のアクティビティで満足度を高めるためには、複数の観光拠点をある程度集約し、シャトルバスで繋ぐ事が必要に思いました。

例えば、勝手な思いつきですが、田沢湖スキー場では以下利便性や選択性を高める事が宿泊者の満足に繋がり、リピーターを含む集客に繋がる様に思いました。

- ・ 水沢温泉付近に " あまり高額でない温泉リゾートホテル " を建てる。小規模から始め、状況をみながら規模を拡大・縮小出来るよう、初期から計画する。
- ・ ホテルと田沢湖駅の間は、シャトルバスを利用して無料送迎（要予約）する。
- ・ リフトを延長してホテルからスキー場へ直接アクセス出来る様にする。他県スキー場にもある様に、宿はゲレンデに直結している方が魅力が高く、温泉が有ればなお魅力的。
- ・ 冬季以外も楽しめるよう、リフトを利用した駒ヶ岳散策やハンググライダー体験、シャトルバスを利用したカヤックや陶芸等の体験、温泉湯めぐり等の半日程度楽しめるアクティビティ（見るだけではなく体験や人的交流）を多く提供できるよう、近隣の企業や達人と連携する。休暇村や界リゾート等の様に無料アクティビティも提供。
- ・ 食材は山菜、きのこ、山芋、果物等、季節毎の地元産品（来ないと食べれないもの）にこだわり、ブランド肉・ジビエ・川魚も日替わりで提供する。ベジタリアン用のメニューも用意する。

- ・ 地元民との交流も魅力なので、可能なら朝夕のバイキングで生産者（高齢者）が地元食品の提供を行う（お婆ちゃんのご飯をよそってくれた事は印象に残っている）。

#### 6－2 【大仙市 50代】

秋田県を観光地としてお客様をお呼びしたいと考えるならば、今の道路事情のままでは失礼に当たるのではないだろうか。ひび割れの補修で段差が多数できてガタガタする。穴の補修が盛り上がりすぎてオフロードになっている。市道も県道も国道も秋田・日本海自動車道も。飛行機に乗れば、「快適な空の旅をお楽しみください」とパイロットが言うが、バスやタクシーの運転手が、秋田の道路でそのように言うことができるだろうか？冬道のガタガタならば仕方ないし、それが冬の実態だとすれば魅力的にもなるだろうが、夏の道路がガタガタなのは、県全体のおもてなしの心が疑われるのではないかと、常に心配しています。

#### 6－3 【秋田市 30代】

そもそも観光以前に夜間のタクシー不足であり、観光客だけでなく住民移動が課題。他国並みの自由ライドシェアを早期に全域解禁。個人事業者が参入で観光周遊や通院など日常生活を支援。特区を選定し先行実施。他には、自動運転シャトルを角館や田沢湖などで実証。先進モデルを他自治体に提供、観光産業と地域の足を強化する。

#### 6－4 【北秋田市 50代】

稼げる観光地づくりを目指す為に

ベースとして受け入れ側の体制をもっと整える必要性を感じる。海外からの観光客は貢献度が高く、稼げる観光地づくりとしてはメインターゲットになるはず。しかし、現状は、本当に満足して頂けたのか？外国人観光客を受け入れる体制が十分ではないと思う。せっかく来て頂いてマイナスのお土産を持たせては意味がない。

お客様目線で、トップセールスなどと並行して、受け入れ側のスキルアップなどのソフト面と、ハード面をもっと推進し

て頂きたい。

#### 6－5 【秋田市 70代】

顧客対応がお粗末なので、県民に顧客対応マニュアルを作成周知し、観光業界に対しては勉強会や講習会実施の支援を行うべき。

##### 対応事例

- ・ 顧客である当方に対し「●●さん」ではなく「お父さん」、「お母さん」との対応に唾然。職員本人は親近感を出しながら丁寧に対応しようとしたのであろうが常識外。
- ・ 顧客である当方に対し、姓名の名の「〇〇さん」と古くからのお友達の間での対応に唾然。顧客には姓名の姓の「●●さん」での対応が常識的。
- ・ 入口の方から開口一番、「忙しくて昨日も寝てないのだ」との弁に唾然とし不愉快極まりなかった。一言、「わざわざ来てくれてありがとう」と言えば顧客は喜ぶのに。
- ・ 食事の予約電話をした際、受付の店員の対応は「その日は満杯です」、「次の日は空いていますか」という問いに「その日も満杯です」、「何日目はどうですか」とさらなる問いに「満杯です」という対応に予約は諦めた。当方も何日なら空いているかと問えばよかったが、店員から「何日と何日が空いておりますがいかがでしょうか」との言葉が出てこないのだろうか思った。やはり店は潰れても仕方がない。

#### 6－6 【秋田市 30代】

自然やお祭りをコンセプトに星野リゾートをつくってほしい。

ビアガーデンだけではなく、竿燈まつりや秋田民謡など、和の文化を大切にしたい所があれば若い人も秋田へ来るのではないか（青森屋のようなものが秋田にあれば良い）。

**6－7 【由利本荘市 70代】**

「稼げる観光地づくり」、「秋田県の推し」、「持続可能な地域にしていくための観光振興」、以上は全て、秋田県の魅力や良さ、強みである「自然の豊かさ」があつてこそである。

※テーマ 11、テーマ 13 に再掲。